

忽七版

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生著

四六版三百餘頁頗も美本
口繪十六枚・插繪多數入
保育法の實際實景紹介
定價二圓五十錢送十六錢

幼稚園保育法典講義

日本のフレーベル倉橋先生の代表的名著茲に出来。發行後僅に數ヶ月にして既に七版

曾橋先生保育眞諦^をを突破し、我が國保育界の明星として一齊に大歓迎を受り愛讀又熱讀される。東京女高師附屬幼稚園の園児等は先生を「おぢさん」と稱して相敬慕する。此の曾橋先生の保育法の眞諦即コツ々悉く本書に披瀝する。

本書は懸隔數年初めて完成されたる新著にして、現行に於て最も完備し且系統的教育法論である。倉橋先生は稀に見る純眞の教育者として著書少く系統ある力作は本書のみ。

○保育界耆宿の力作 著者は幼兒教育並に家庭教育の第一人者として曩くも此點と御關心深き、兩陛下の御前講演の策に沿され又屢々官家よりの御招聘る我國保育界の耆宿にて、本邦第一の東京女高師附屬幼稚園主事、文部省社會教育官などを兼ねられ人間味豊かな人格者として定評の士である。

第一編 幼稚園保育法の 一 改善一公私共の 二 備考	七幼兒生活の教育等 八幼兒の個性生 九幼兒の個性生	四保育案の採りどころ 五保育案立と保育項目 六保育案立と教養態度	二自由遊びから仕事へ 三個の分團組 四個の時間割	十おかへり 第4編 保育誘導案
----------------------------------	---------------------------------	--	--------------------------------	--------------------

一、幼兒生活と幼稚園生活	二、幼稚園における保育の問題	三、幼稚園における保育の問題	四、幼稚園における保育の問題	五、幼稚園における保育の問題
（幼兒生活）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）
（幼兒生活）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）
（幼兒生活）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）
（幼兒生活）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）	（幼稚園における保育の問題）

五三四、
以幼兒生活活動の自己實現爲目的の充實指揮等。
二二保育案の意義。
十三腐乳の保育過程實際。
八七生活の偶發性を告げる事。
三二大衆に出る事。
五四わたりし達の自動車。

九日の實際生活の尊重と特急列車

東洋株式合資會社

書良の備必須必

東京女高師教授倉橋惣三先生
附屬幼稚園主事

保母新庄よしこ

同校生共著

洋綴天金上製
菊判四八〇頁
定價三圓八十錢

日本幼稚園史

特色

一、二十年苦心の結晶漸く完成す。
二、草稿千餘枚插繪數百整理成る。
三、日本幼稚園史として比類なし。

倉橋先生畢生懸命の助力にて此の大記念塔。

大震災にて一時頓坐更に繼續再計畫の上蒐集考究研究完成する。

第一編 沿革及施設史

第一章 幼稚園開設前期

第一節 幼稚園開設の建設

第二節 幼稚園開設の機運

第三節 幼稚遊戯場

第四節 幼稚園開設業者

第五節 幼稚園開設の創設

第六節 幼稚園開設の創設

第七節 幼稚園開設の創設

第八節 幼稚園開設の創設

第九節 幼稚園開設の創設

第十節 幼稚園開設の創設

第十一節 幼稚園開設の創設

第十二節 幼稚園開設の創設

内容目次

第三章 女子師範學校附属幼稚園

第一節 创立當時の規則及

第二節 建物庭園及職員

第三節 保育科目及保育用

第四節 幼稚園參觀記及追憶

第五節 女子師範學校附属幼稚園

第六節 行啓

第七節 行啓

第八節 行啓

第九節 行啓

第十節 行啓

第十一節 行啓

第十二節 行啓

第十三節 行啓

第一編 第二編 第三編

第一章 保育養成機關

第一節 保育見習生

第二節 保育科の設置

第三節 一日の開説(保育)

第四節 保育科の恩物

第五節 説話理解

第六節 物理解

第七節 思想の名稱その他

第八節 行幸

第九節 行幸

第十節 行幸

第十一節 行幸

第十二節 行幸

第十三節 行幸

第一編 第二編 第三編

第一章 公令功績者、保育

第一節 公令功績者

第二節 功績者

第三節 一日の開説(保育)

第四節 保育科の恩物

第五節 説話理解

第六節 物理解

第七節 思想の名稱その他

第八節 行幸

第九節 行幸

第十節 行幸

第十一節 行幸

第十二節 行幸

第十三節 行幸

第一編 第二編 第三編

第一章 保育の實狀

第一節 一日の開説(保育)

第二節 保育科の設置

第三節 一日の開説(保育)

第四節 保育科の設置

第五節 一日の開説(保育)

第六節 一日の開説(保育)

第七節 一日の開説(保育)

第八節 一日の開説(保育)

第九節 一日の開説(保育)

第十節 一日の開説(保育)

第十一節 一日の開説(保育)

第十二節 一日の開説(保育)

第十三節 一日の開説(保育)

第一編 第二編 第三編

第一章 保育文獻

第一節 保育文獻

第二節 保育文獻

第三節 保育文獻

第四節 保育文獻

第五節 保育文獻

第六節 保育文獻

第七節 保育文獻

第八節 保育文獻

第九節 保育文獻

第十節 保育文獻

第十一節 保育文獻

第十二節 保育文獻

第十三節 保育文獻

東洋株式会社圖書發兌

京阪

東大

番七三〇一京東替振・目丁一町保神・區田神市京東
番六五五九三阪大替振・地番八二目丁一町寺堂安内・區南市阪大